

2015 年 一般社団法人 日本離床研究会 認定試験

<総評 >

2015年7月12日に一般社団法人日本離床研究会の各認定試験が実施され、9月30日にそれぞれ合格者の発表が行われた。

まず、例年に続き実施されたプレアドバイザー試験の出題傾向は、昨年同様当会公式テキスト（実践 早期離床完全マニュアル）の内容を中心に出题された。プレアドバイザー筆記試験の合格率は85%であり、昨年より高い合格率となった。今年のプレアドバイザー筆記試験の特徴として、例年より臨床的判断が問われる問題数が多かったが、日本離床研究会教育講座に受講経験のある受験者が多く、結果として正答率が向上したと考えられる。

今回2回目となるアドバイザー筆記試験の出題傾向は、臨床に必要な離床の基礎・応用知識を中心に出题された。アドバイザー試験は合格すれば、当会指定の教育講座、実技講座の受講なしに離床アドバイザーを認定するものであるが、昨年と同様に8割正答の合格基準を満たすものがおらず、合格者なしとなった。テキストのみの試験学習ではなく、実際の症例に対し、離床を実践する知識・技術を網羅することが必要と考えられた。

インストラクター筆記試験では例年より僅かではあるが合格率が上昇した。インストラクター試験はアドバイザー認定者のみが受験可であるが、年々アドバイザーのレベルが向上していることがいえる。問題に関しては、臨床に必要な離床の基礎・応用知識、離床に関連する最新知識まで幅広い分野にわたって出题された。例年同様に5肢択一問題より、5肢複択の問題が多い傾向にあり、解答を絞り出すことに時間を要し、試験の見直しが十分に行えず失点につながっていると考えられる。

また、インストラクター実技試験も同日に実施された。同実技試験の受験資格は、昨年、一昨年のインストラクター筆記試験合格者が得られるもので、実技試験は実際の症例情報から、離床前後のアセスメント、離床の実践、行ったアセスメントや技術に関する根拠や注意点のレクチャーなど、知識・技術・指導力の総合力が問われる試験である。今回3名合格者として離床インストラクター認定者が新たに誕生した。

各受験者には合否通知と詳細な試験結果および採点チャートを後日郵送にて通知する。問題の分野別正答率や今後の学習に向けてコメントを記載されているので、是非参照し、臨床への応用、次のステップアップに活かしていただきたい。また、過去に出题された問題の一部を当会ホームページに公開する。出題の形式や傾向など参考にして欲しい。

日本離床研究会認定試験 合格率			
	2013年	2014年	2015年
離床インストラクター実技試験	未実施	1名合格	3名合格
離床インストラクター筆記試験	20%	20%	42%
離床アドバイザー筆記試験	未実施	合格者なし	合格者なし
離床プレアドバイザー筆記試験	90%	80%	85%

〈離床インストラクター筆記試験 対策〉

離床インストラクターは離床に関する基礎知識は勿論、研究データの臨床応用、離床の実践に関する知識など出題範囲が多岐に渡るため、離床アドバイザー取得者にとっても難易度の高い問題となる。よって、基礎知識の復習に加え、離床に関する最新のエビデンスや、各分野のガイドラインにおける関連項目をチェックすることが必要となる。また、症例ベースの臨床的設問が多く、時間配分が難しいのもインストラクター試験の特徴である。基礎問題を正確かつ短時間で回答し、症例問題にしっかり時間を掛けられることも対策として重要である。

〈離床インストラクター実技試験 対策〉

実技試験はインストラクターへの最終関門となるため、総評の通り総合力が問われる試験となる。対策としては離床に関するアセスメント、体位変換や移乗動作など実践の技術が確実に実施出来ること。更に実践の際のポイントを知っていることが必要となる。更に疾患毎の離床の注意点と患者への声掛けやインストラクターとして医療者へ指導する能力も問われる。つまり、日常の臨床において、1例1例の離床やケア・アプローチに真摯に向き合うこと、そして同僚や後輩に声に出して指導することが一番の対策と言える。

〈離床アドバイザー筆記試験 対策〉

離床アドバイザーは、当会理論コースと実技コースを修了したレベルと同等の知識レベルが要求される。つまり臨床であらゆる診療科の患者に対して離床を行うための知識、アセスメント、離床を実践するポイント、技術を全て知っていることが求められる。疾患に偏らず、検査データや薬剤に関する問題も一定の割合出題されるため、幅広い分野の学習をお勧めする。

〈離床プレアドバイザー筆記試験 対策〉

離床プレアドバイザーは例年同様協会公式テキスト（実践！早期離床完全マニュアル）の内容を中心の出題となった。同テキストの内容を中心に基礎事項は確実に正答出来るように抑えることが一番のポイントとなる。その他離床の実践問題として、症例問題も一定の割合で出題されるので、過去の問題などを参考に、対策を立てて欲しい。

〈次回認定試験の予定〉

- ・離床インストラクター実技試験

試験日：2015年11月15日（日）会場：東京

- ・離床インストラクター筆記試験
- ・離床アドバイザー筆記試験
- ・離床プレアドバイザー筆記試験

試験日：2016年7月10日（日）会場：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、高松、福岡